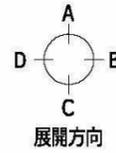


X線撮影室				
No	名称	質量	W	D x H
1	天井式X線管保持装置	540 kg	5,150 x	2,876 x 2,876
2	コンソールパネル	2 kg	280 x	50 x 280
3	コントロールキャビネット	135 kg	680 x	420 x 900
4	胸部撮影台	115 kg	650 x	310 x 1,920
5	昇降式フローティング撮影台	300 kg	2,300 x	960 x 950

天井式X線管保持装置の高さ：天井取付面より1,176mm~2,876mm  
 ケーブルは巻き用ランナーを取り付けた場合、長手方向の支柱移動範囲が制限されます。  
 上記機器リスト以外の機器・什器・設備は弊社別途です

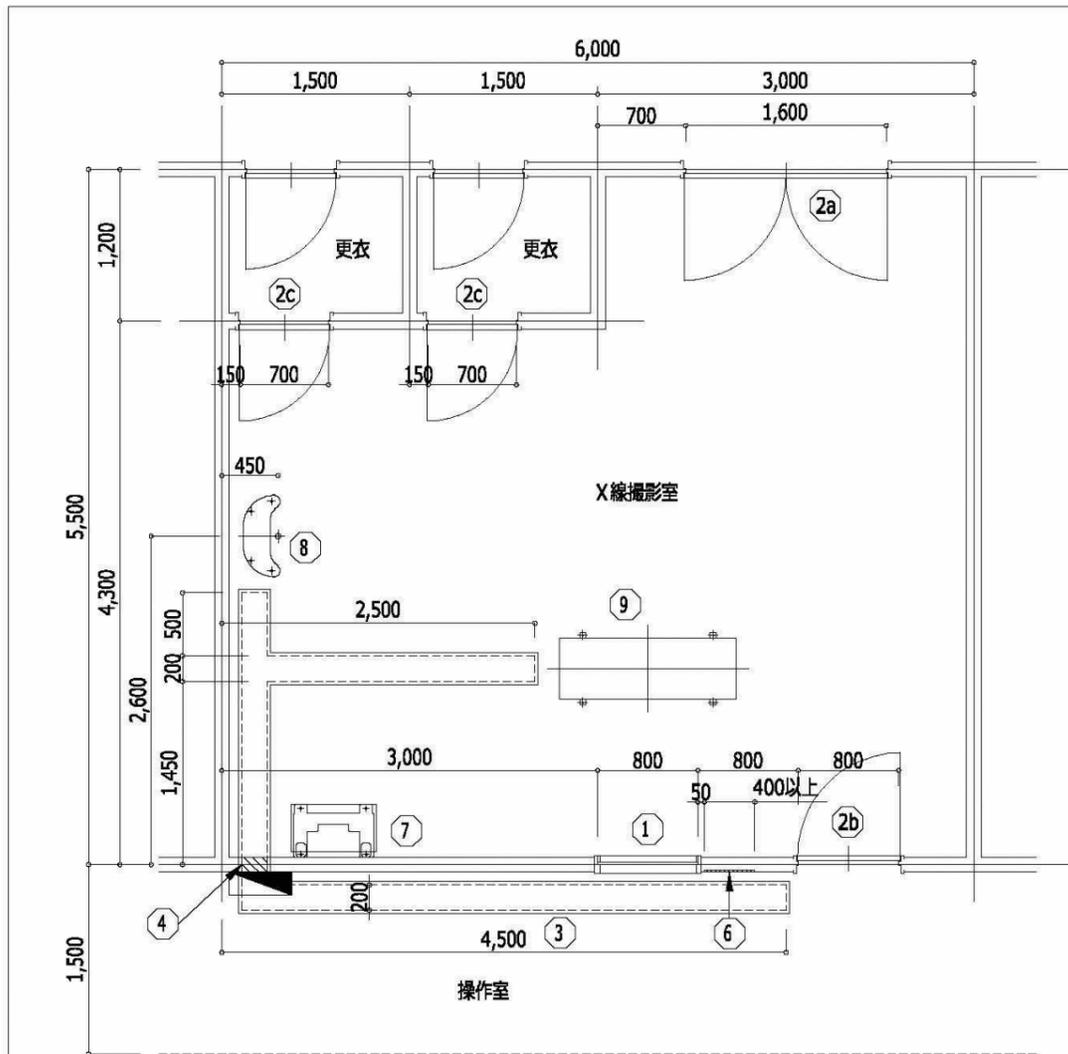
寸法：W800×D840×H2,345 (最大高さ) 質量：135kg



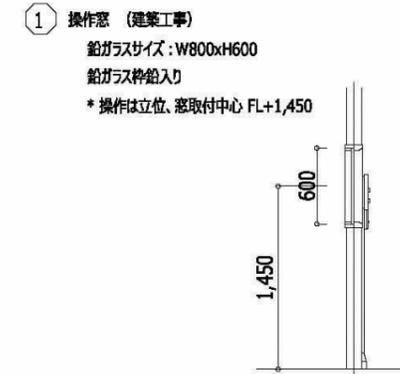
標準工事区分表			
工事項目	お客様工事	メーカー工事	
1 躯体・壁・床・天井工事及び内装工事	○		
2 扉・窓・壁等のX線遮蔽工	○		
3 配線ダクト工事	○		
4 天井鉄骨架台 (天井走行装置用) 工事 (材工共)	○		
5 天井鉄骨架台用スラフアンカーボルト工事 (材工共)	○		
6 天井点検口	○		
7 コンソールパネル壁取付補強板 (合板：材工共)	○		
1 電源・接地工事	○		
2 装置電源盤 (配線立下げ開口+カバー付) の製作・取付	○		
3 コンセント工事	○		
4 「使用中」表示灯の器具手配・取付・電源供給・配線	○		
5 装置の配線用アクトレット・空配管	○		
6 インターホン (撮影指示用) の器具手配・取付	○		
7 調光照明設備	○		
8 配線ダクト工事 (必要な場合)	○		
9 高調波抑制対策 (必要な場合)	○		
1 空調設備工事	○		
2 医療ガス設備	○		
1 装置の搬入・据付・調整作業		○	
2 電離放射線測定	○		
上記以外の工事	○		

この図面は装置のレイアウトと設置に必要な建築・設備についてのご提案図面です  
 メーカーの工事範囲は、弊社製装置の搬入、据付、調整です。  
 装置を設置するための建築設備工事はお客様の工事です。

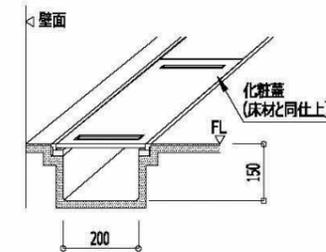
日付	名称	備考
縮尺 A3:1/50		
枚数 1/6	装置配置図	



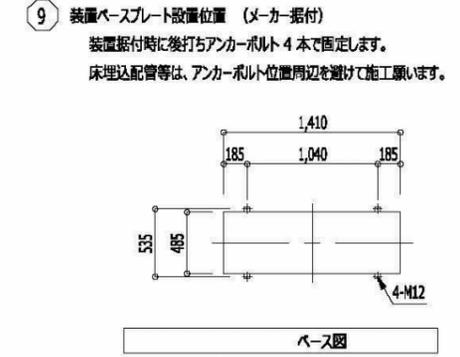
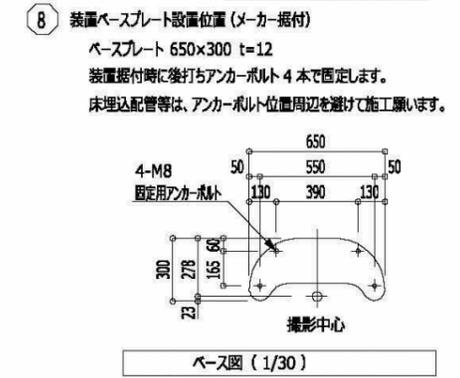
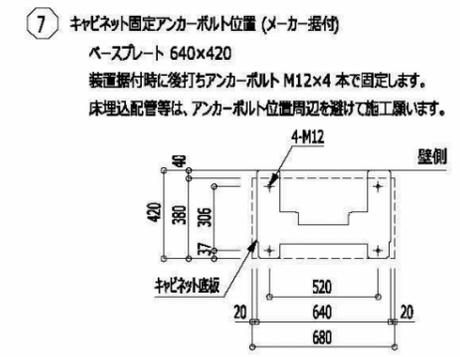
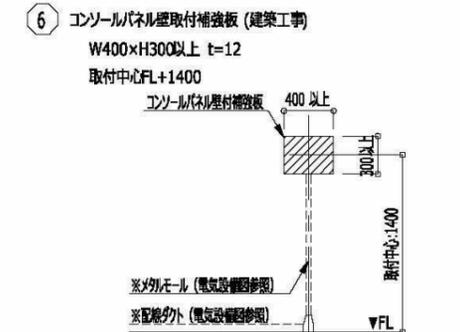
- 天井高さ  
X線撮影室 標準 2,900  
※ 天井高さがCH:2900を超える場合、撮影上支障が無いかご確認ください。  
詳細は、装置配置図の展開図を確認ください。
- X線遮へい  
X線遮へいに必要な鉛当量は、装置の使用条件や周辺環境により異なるため、その算出には遮へい計算が必要です。計算書作成は、専門会社にご相談ください。
- X線撮影室の床構造 (建築工事)  
装置固定のため、あと施工アンカーボルトを打てるコンクリート構造のこと。



- ① 操作窓 (建築工事)  
鉛ガラスサイズ：W800xH600  
鉛ガラス枠鉛入り  
\* 操作は立位、窓取付中心 FL+1,450
- ②a X線遮へい両開扉 (建築工事)  
有効開口：W1,600x H2,100 扉・枠共、鉛入り
- ②b X線遮へい片開扉 (建築工事)  
有効開口：W800x H2,100 扉・枠共、鉛入り
- ②c X線遮へい片開扉 (建築工事)  
有効開口：W700x H2,100 扉・枠共、鉛入り
- ③ 配線ピット (化粧フタ付) (建築工事)  
W200xD150

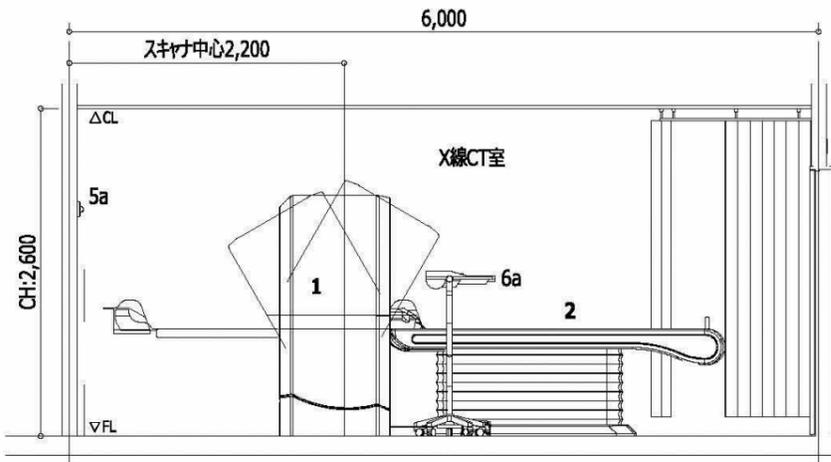
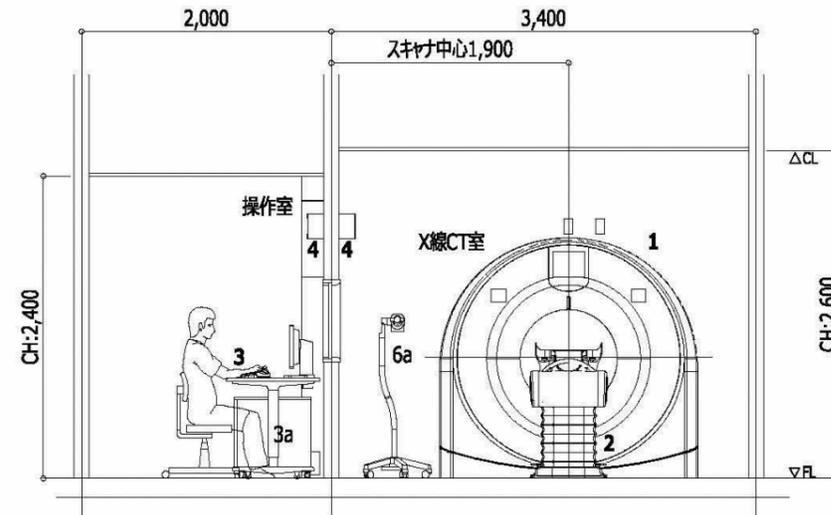
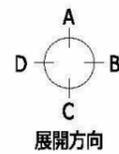
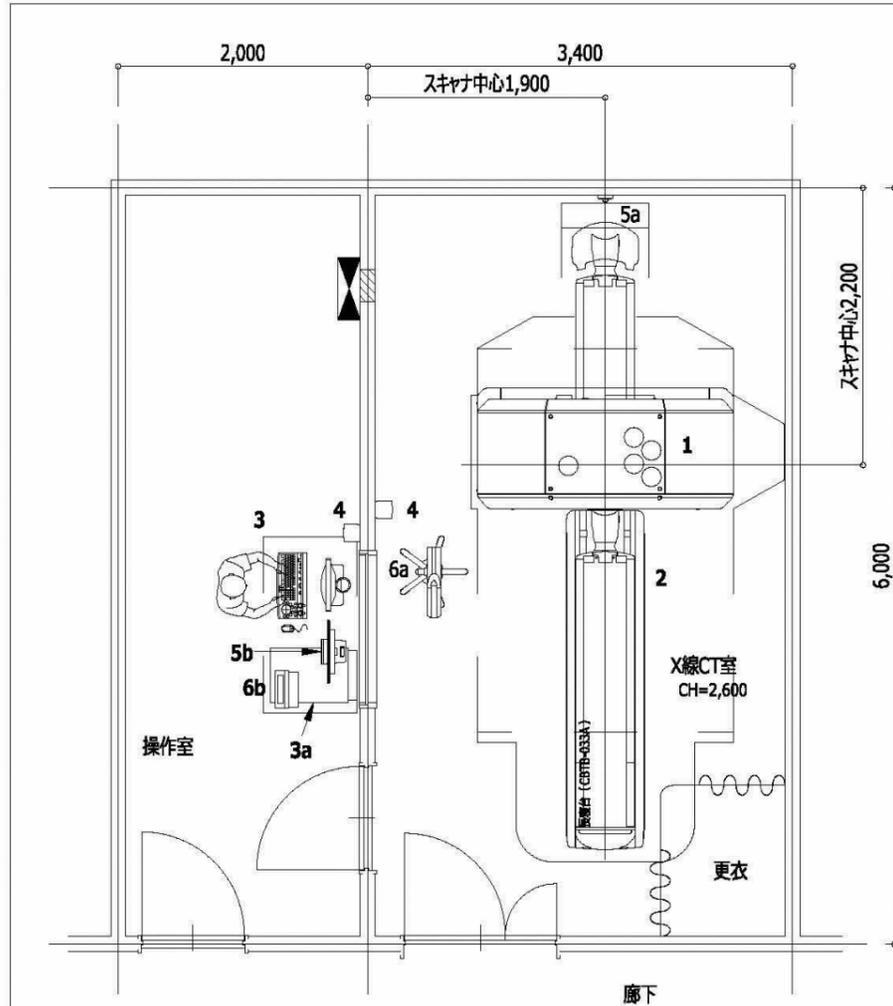


- ④ 配線ピット異通口 (建築工事)  
W200xD150
- ⑤ 天井点検口 450x450 (建築工事)  
位置などは天井伏図に記入



日付	名称		図番
	縮尺	A3:1/50	
製図担当	枚数	2/6	建築図





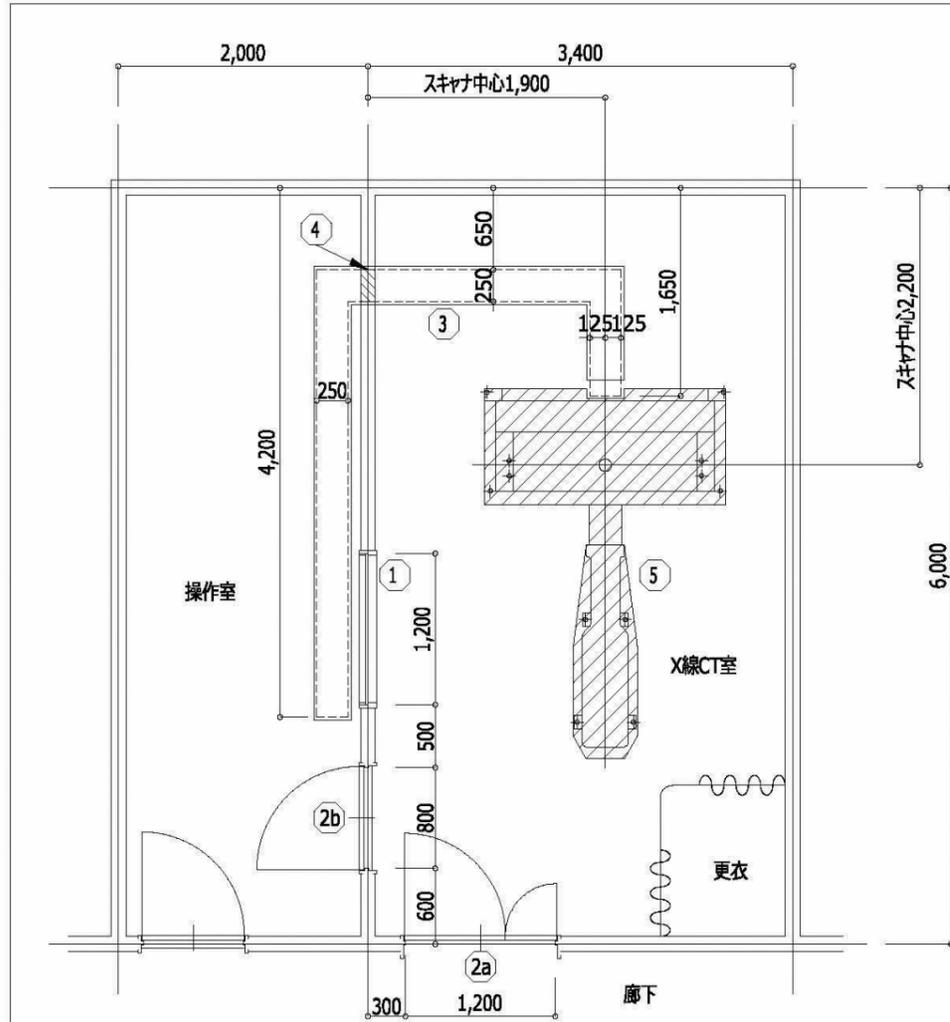
X線CT室			
No	名称	質量	W x D x H
<b>X線CT装置</b>			
1	スキャナ本体	1350 kg	2,050 x 960 x 1,910
2	長巻台	485 kg	630 x 2,690 x 450
撮影距離:1,800 (デスクはオプション)			
3	コンソールドesk※		1,400 x 750 x 800
3a	ナビボックス	75 kg	430 x 690 x 645
4	スピーカー	2 kg	140 x 135 x 200
5a	患者モニタカメラ※	0.24 kg	120 x 54 x 120
5b	患者モニタ※	3.5 kg	502 x 200 x 360
6a	スタンド型インジェクタ※	14.5 kg	550 x 660 x 1,300
6b	インジェクタコンソール※	6.5 kg	302 x 180 x 282

上記機器リスト以外の機器・什器・設備は弊社別途です。  
コンソールの寸法は、デスクのみの寸法です。  
※印はオプションです。

標準工事区分表			
工事項目	お客様工事	メーカー工事	
1 躯体・壁・床・天井工事及び内装工事	○		
2 扉・窓・壁等のX線遮へい工事	○		
3 配線ビッド工事	○		
4 床耐荷重の検討・対策工事	○		
5 天井吊インジェクタの取付鉄骨架台工事 (材工共) (必要な場合)	○		
6 装置ベース部の床レベルング (エポキシ樹脂) 工事 (機種による)		○	
7 天井点検口 (必要な場合)	○		
8 点滴レールの手配・取付	○		
1 電源・接地工事	○		
2 装置電源盤 (配線立上げ開口・加付) の製作・取付	○		
3 コンセント工事	○		
4 患者モニターカメラの器具手配・取付・配線		○	
5 上記カメラの配線用アウトレット・空配管	○		
6 インカメラ (撮影指示用) の器具手配・取付・配線		○	
7 上記スピーカーの配線用アウトレット・空配管	○		
8 光回線 (リモートメンテナンス用) の器具手配・取付・配線		○	
9 上記光回線の配線用アウトレット・空配管	○		
10 「使用中」表示灯の器具手配・取付・電源供給・配線	○		
11 調光照明設備	○		
12 配線ダクト工事 (必要な場合)	○		
13 高調波抑制対策 (必要な場合)	○		
1 空調設備工事	○		
2 医療ガス設備	○		
3 流し台・洗面台	○		
1 装置の搬入・据付・調整作業		○	
2 電離放射線測定	○		
上記以外の工事	○		

この図面は装置のレイアウトと設置に必要な建築・設備についてのご提案図面です

日付	名称	X線CT装置 参考図	
縮尺	枚数	装置配置図	
A3:1/50	1/3		

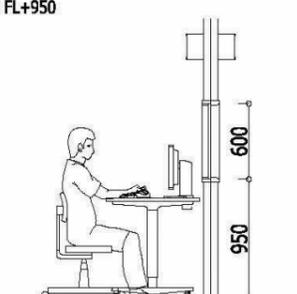


- 天井高さ
 

X線CT室	標準2,600 最低2,100
-------	-----------------

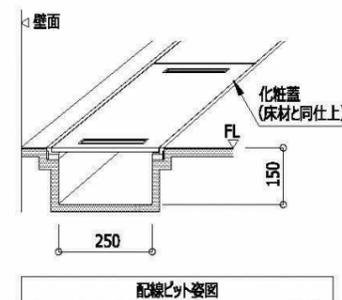
 ※天井吊インジェクターをガントリー直上に設置する場合、天井高さ2,800以上が必要です
- X線遮へい
 X線遮へいに必要な鉛当量は、装置の使用条件や周辺環境により異なるため、その算出には遮へい計算が必要です。計算書作成は、専門会社にご相談ください。
- X線CT室の床構造 (建築工事)
 装置固定のため、あと施工アンカーボルトを打てるコンクリート構造のこと。

- ① 操作室 (建築工事)  
 鉛ガラスサイズ：W1200×H600  
 鉛ガラス枠鉛入り  
 \*操作は座位、窓取付下端 FL+950



- ②a X線遮へい観子扉 (建築工事)  
 有効開口：W1,200×H2,100 扉・枠共、鉛入り
- ②b X線遮へい片開扉 (建築工事)  
 有効開口：W800×H2,100 扉・枠共、鉛入り

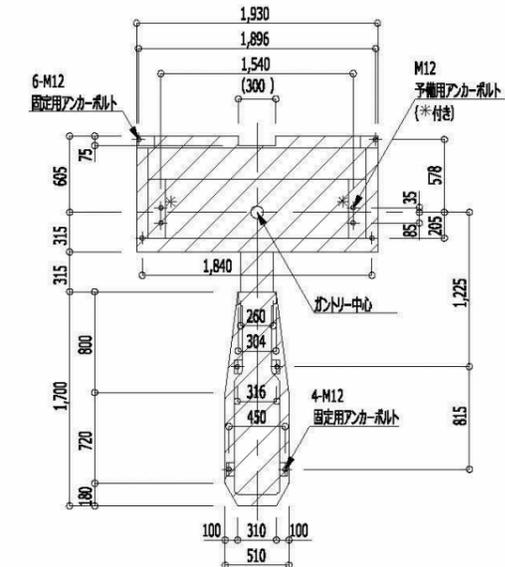
- ③ 配線ピット (化粧フタ付) (建築工事)  
 W250×D150



- ④ 配線ピット貫通口 (建築工事)  
 W250×D150

- ⑤ CT装置設置床に対する要求

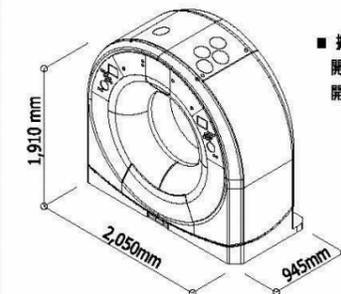
装置据付時に後打ちアンカーボルト 10 本で固定します (メーカー据付) 床埋込配管等は、アンカーボルト位置周辺を避けて施工願います。斜線部は床レベリング (エポキシ樹脂) 工事施工範囲です。装置ベース床面全体にわたり平滑度 10mm / 約 3m 以上の場合は、床レベリング工事が要ります (メーカー工事)



ベース、装置固定アンカーボルト位置 (メーカー据付) 床レベリング (エポキシ樹脂) 工事施工範囲 (メーカー工事)

- Aquillon Lighting (TSX-035A) 搬入外形

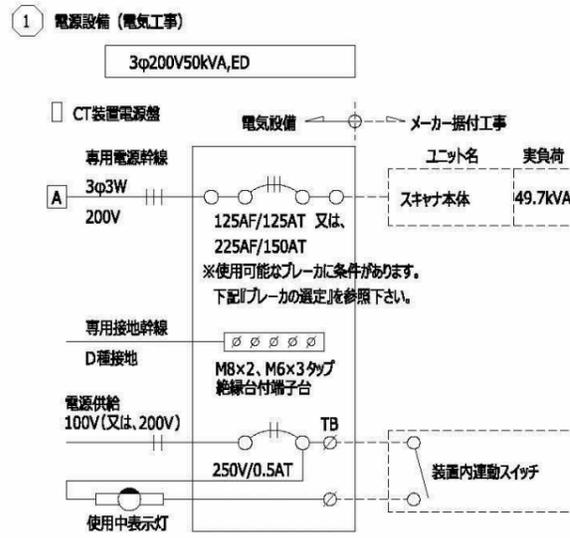
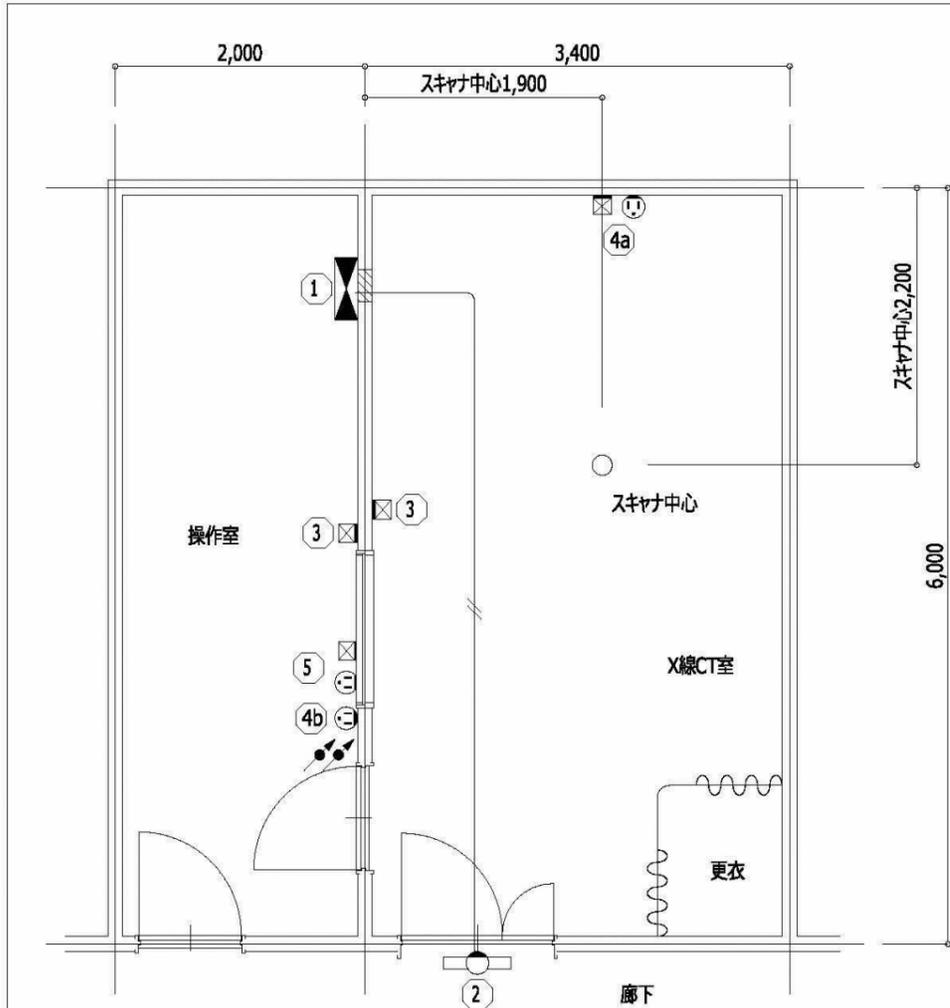
- スキャナ本体搬入外形寸法
 本体搬入治具込み：W2,785×D1,040×H1,910 質量：1,570kg  
 本体：W2,050×D945×H1,910 質量：1,310kg
- 臺台搬入外形寸法
 長臺台：W630×D2,690×H450 質量：485kg  
 短臺台：W630×D2,390×H450 質量：455kg



- 搬入路推奨値
 開口高さ：2,130 以上  
 開口幅：1,060 以上

※ 標準出荷形態はカバー付とします。解体が必要な場合、事前にお問い合わせください。  
 ※ 据付けを簡略にするため、スキャナ搬入治具の使用を推奨します。

日付	名称	X線CT装置 参考図	
縮尺	枚数	A3:1/50	2/3
製図担当	図種	建築図	



盤の下面に配線開口 (180x100以上) と配線ピット等までの配線ダクト (200x150以上) を設置のこと (電気工事)

- A X線CT装置 電源仕様
  - 推奨変圧器容量 50kVA (3φ200V)
  - 負荷時の電圧降下 5%以下
  - 電源電圧変動率 -5~+10%
  - 負荷変動と電源電圧変動の合計が10%以下のこと
  - 電源ケーブル (CVT) サイズ (配電変圧器~電源盤)

口油入りトランス 50kVA を選定し、トランス分の電圧降下を 1.9% として算出

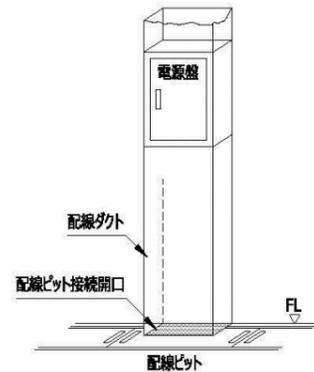
こう長 (m以下)	30	55	90	120
ケーブルサイズ (mm)	38	60	100	150

口モールドトランス 50kVA を選定し、トランス分の電圧降下を 2.8% として算出

こう長 (m以下)	20	40	60	80
ケーブルサイズ (mm)	38	60	100	150

- 漏電ブレーカ・漏電リレーを設置する場合は、高調波対応形を使用してください。(感度電流100mA)
- ブレーカの選定 下記推奨品以外を選定する場合には、使用可能であるかの確認が必要です。『通常使用時のブレーカ動作曲線』と『瞬時引き外し特性』のデータを弊社担当者まで提示下さい。三寶電機製 NF125-SVU-3P-125A 富士電機製 EW125JAGU-3P125AK (漏電ブレーカの場合)
- 推奨品

- 2 使用中表示灯 (電気工事) 表示灯は電源供給し X 線装置電源盤内にブレーカ (250V/0.5AT) を設置の上、配線を端子に接続のこと。端子から装置内運動スイッチへの配線接続をキヤノン工事 (装置据付時) にて行います。「使用中」表示灯は点灯時のみ文字が判読できる消し文字パネルを推奨します。※設置が必要な箇所は管轄の保健所の見解により異なる為、別途ご確認のうえ決定下さい。(操作室等の従事者用出入口にも設置が必要な場合が御座います。)



- 3 スピーカー用アウトレット・空配管 (電気工事) 取付高さ FL+2,000 ノズルプレート付き 配線用空配管 PF16 (呼び線入) を撮影室側のアウトレットから操作室側のアウトレットを経由し端部を配線ピット内に突き出し又は、撮影室側・操作室側共に端部を配線ピット内に突き出し

- 4a 患者モニタカメラ用コンセント・アウトレット・空配管 (電気工事) コンセント取付高さ FL+2,000 アウトレット取付高さ FL+2,000 ノズルプレート付き 配線用空配管 PF22 (呼び線入) を配線ピット内に突き出し ※ 患者モニタカメラ取付高さ FL + 1,800
- 4b 患者モニタ用コンセント (3 個口 (電気工事)) 取付高さ : FL + 300
- 5 光回線用空配管・アウトレットボックス・コンセント (電気工事) 装置の故障診断などを行うネットワークカーブス (キヤノンリモートメンテナンス) 用空配管工事 (28PF 管) ・MDFからONU(光回線終端装置) ・ONU からリモートメンテナンス用装置設置場所付近のアウトレットボックスへ (FL + 300、ノズルプレート付) リモートメンテナンス用装置設置場所付近に PC 用コンセント (取付高さ : FL + 300) を設けてください。 ※ ONU 設置場所・電源仕様につきましては、貴院と当社技術担当者にて打ち合わせが必要となります。 ※ 光回線の申し込み・光ケーブル敷設・ONU 設置は、キヤノンメディカルシステムズ費用負担にて、NTT へ依頼します。 ※ 装置設置場所における 4G/LTE 回線の電波受信状況によっては、光回線敷設が不要となる場合もございます。事前に当社技術担当者へお問い合わせください。

<高調波抑制対策について (電気工事) >  
高圧受電において「高調波発生機器からの高調波流出電流計算書」の作成が必要な場合は、別途弊社担当者にお尋ね下さい。高調波抑制対策が必要な場合、お客様工事にて施工願います。

- <照明設備>
- 撮影室・操作室の照明には、調光設備を推奨します。
  - 照明器具はモニターや操作窓に光源が映らないよう、ルーバー付器具などを推奨します。
  - 観客の患者さんがまぶしくないよう、照明配置や器具の選定をしてください。
  - 天井に取付ける機器がある場合は天井伏図を添付していますので、参照の上照明器具などの取り合いに留意ください。

- <コンセント設備>
- 弊社 (販売品も含む) が使用するコンセントのみ、図面中に記載しています。上記以外のコンセントは、別途計画ください。
  - コンセントは、弊社装置と干渉しない位置に計画ください。装置の設置位置は、装置配置図にて確認ください。

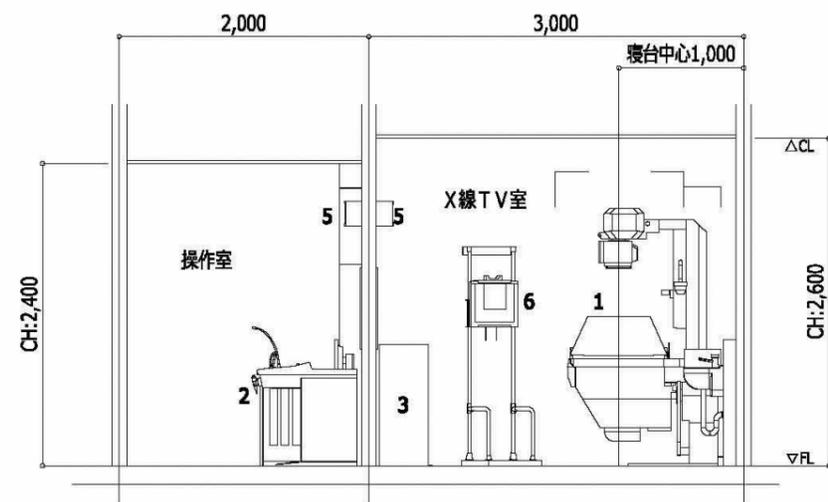
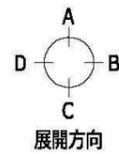
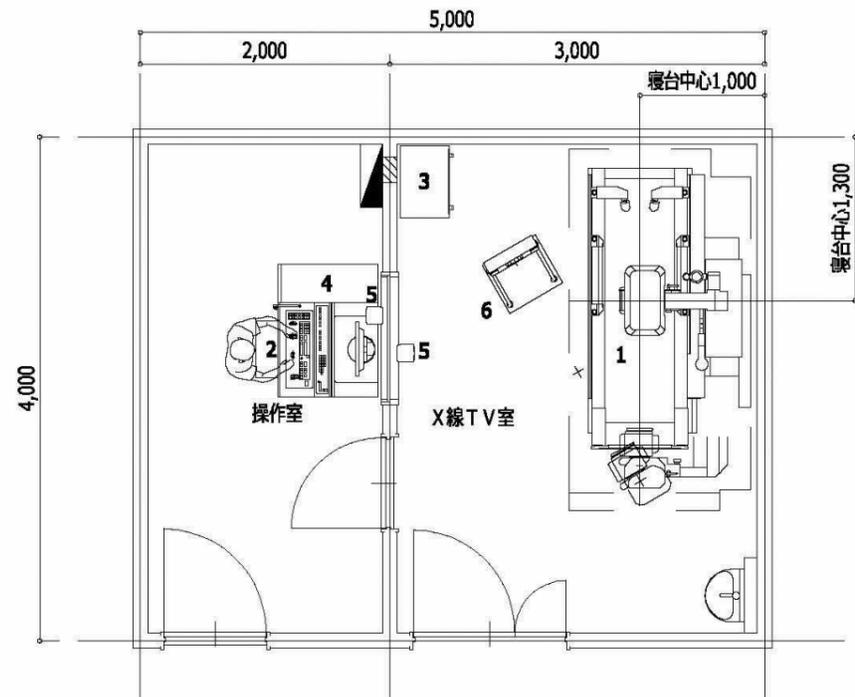
機器発熱量と空調条件 (kW)			
部屋	発熱量	温度	湿度
X線CT装置			
X線CT室			
スキャナ本体	5.7	18~28℃ ただし中心値 20~26℃ 変動範囲は中心値±2	40~80%
長巻台	合計 0.5		
操作室			
ナビボックス	3	16~28℃	40~80%
合計 3			

- スキャナ本体の時間平均発熱量を算出した想定使用条件: 36kW (撮影中) x 30秒/人 x 10人/時 + 3,600 + 2.7kW (待機中) = 約5.7kW
- スキャナ本体の最大発熱能力: 8.9kW
- 非使用時の条件: 温度0~40℃、湿度30~80%
- 当社別途の機器は含みません。
- 温度・湿度は機器の環境条件です。
- 空調機は装置の直上を避けること (漏水)
- 撮影室・操作室は個別空調のこと (マルチタイプは不可)
- 結露しないこと。

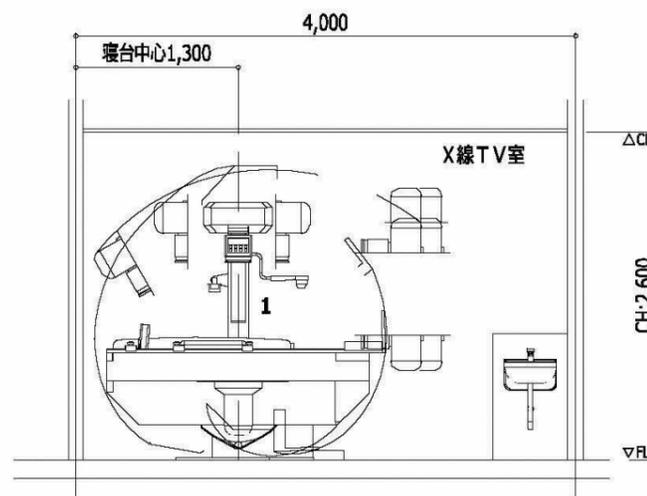
凡例

記号	名称	記事
⊞	電源盤	
○	表示灯	「使用中」文字入の器具及び取付け、配線
☞	調光スイッチ	0~500Lx 撮影室・操作室
Ⓜ	コンセント	接地極付きコンセント
⊞	配線用アウトレット	壁付き (ノズルプレート付)

日付	編	X線CT装置 参考図
当	編尺 A3:1/50	
製図担当	検 3/3	
電気設備図		編



A方向展開図 1:50



B方向展開図 1:50

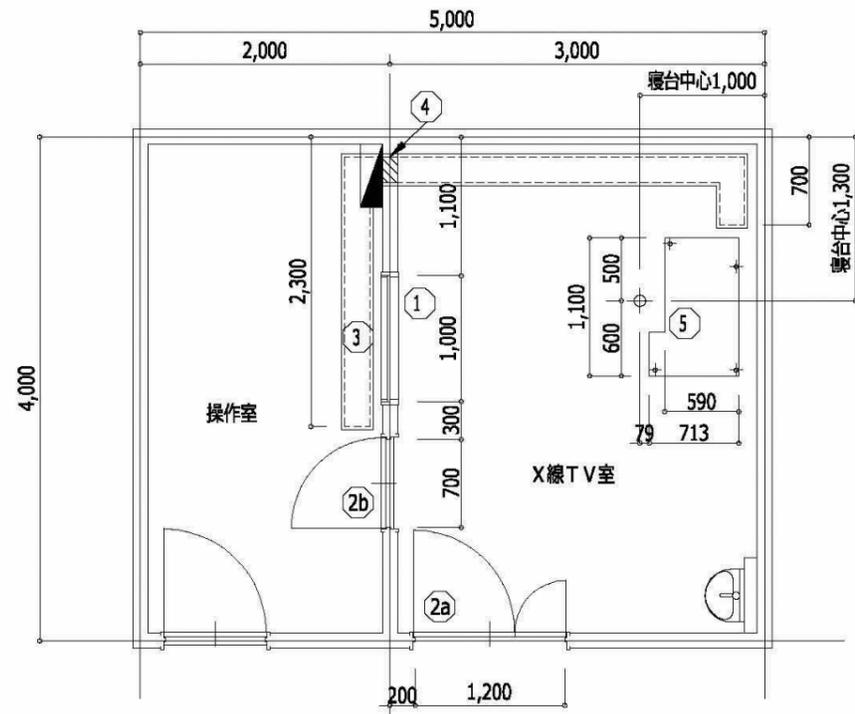
この図面は装置のレイアウトと設置に必要な建築・設備についての提案図面です  
 メーカーの工事範囲は、弊社製装置の搬入、据付、調整です。  
 装置を設置するための建築設備工事はお客様の工事です。

X線TV室				
No	名称	質量	W x D x H	
1	X線TV装置	780 kg	2,230 x	1,305 x 2,335
2	遠隔操作卓	180 kg	750 x	800 x 1,105
3	透視撮影装置キャビネット	60 kg	575 x	405 x 962
4	画像処理装置	42 kg	300 x	800 x 765
5	スピーカー	2 kg	140 x	135 x 200
6	立位リーダー撮影台	15 kg	513 x	453 x 1,740

X線TV装置の高さ2,335mmは、寝台部立位軌跡の最大高さです。  
 上記機器リスト以外の機器・什器・設備は弊社別途です。  
 ※印はオプションです。

標準工事区分表			
工事項目		お客様工事	メーカー工事
建築	1 躯体・壁・床・天井工事及び内装工事	<input type="radio"/>	
	2 扉・窓・壁等のX線遮へい工事	<input type="radio"/>	
	3 配線ピット工事	<input type="radio"/>	
	4 床耐荷重の検討・対策工事	<input type="radio"/>	
	5 点滴レールの手配・取付	<input type="radio"/>	
電気	1 電源・接地工事	<input type="radio"/>	
	2 装置電源盤（配線立下げ開口・加付）の製作・取付	<input type="radio"/>	
	3 コンセント工事	<input type="radio"/>	
	4 「使用中」表示灯の器具手配・取付・配線	<input type="radio"/>	
	5 インターホム（撮影指示用）の器具手配・取付・配線		<input type="radio"/>
	6 上記スピーカーの配線用アウトレット・空配管	<input type="radio"/>	
	7 調光照明設備	<input type="radio"/>	
	8 配線ダクト工事（必要な場合）	<input type="radio"/>	
	9 高調波抑制対策（必要な場合）	<input type="radio"/>	
空調・衛生	1 空調設備工事	<input type="radio"/>	
	2 医療ガス設備	<input type="radio"/>	
	3 流し台	<input type="radio"/>	
機器	1 装置の搬入・据付・調整作業		<input type="radio"/>
	2 電離放射線測定	<input type="radio"/>	
上記以外の工事		<input type="radio"/>	

日付	名称	
縮尺 A3:1/50		
製図担当 枚数 1/3		図番



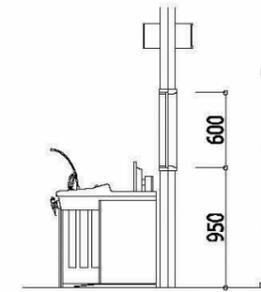
■ 天井高さ  
X線TV室 標準2,600 最低2,400

■ X線透へい  
X線透へいに必要な鉛当量は、装置の使用条件や周辺環境により異なるため、その算出には透へい計算が必要です。計算書作成は、専門会社にご相談ください。

■ X線TV室の床構造 (建築工事)  
装置固定のため、あと施工アンカーボルトを打てるコンクリート構造のこと。

下記の建具幅は受領図内の数値であり、建具高さ寸法は推奨値です

① 操作窓 (建築工事)  
鉛ガラスサイズ：W1000×H600  
鉛ガラス枠鉛入り  
\* 操作は座位、窓取付下端 FL+950

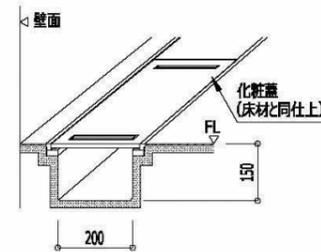


建築図-操作窓断面 1:50

②a X線透へい観子扉 (建築工事)  
有効開口：W1,200×H2,100 扉・枠共、鉛入り

②b X線透へい片開扉 (建築工事)  
有効開口：W700×H2,100 扉・枠共、鉛入り

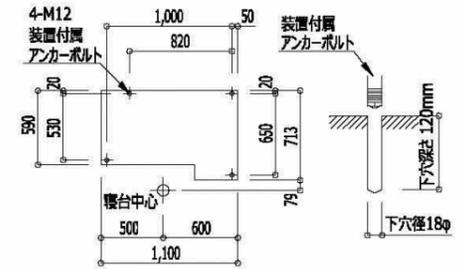
③ 配線ピット (化粧フタ付) (建築工事)  
W200×D150



配線ピット姿図

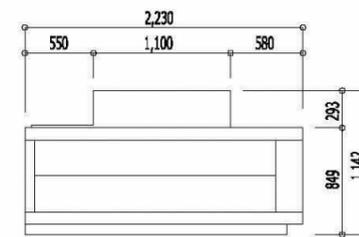
④ 配線ピット貫通口 (建築工事)  
W200×D150

⑤ 架台ベース設置位置 (メーカー据付)  
ベースプレート 1,100×713 t=16  
装置据付時に後打ちアンカーボルト  
M12×4本 (下穴深さ120mm) で固定しますので、  
床埋込配管等は、アンカーボルト位置周辺を避けて施工願います。

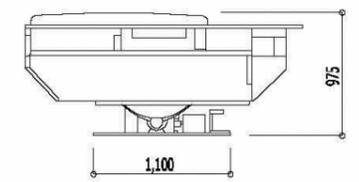


■ 搬入外形図

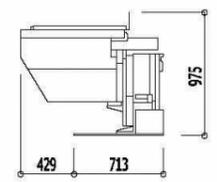
■ ガンリ搬入外形寸法：W2,230×D1,142×H975  
質量：約600kg



平面図

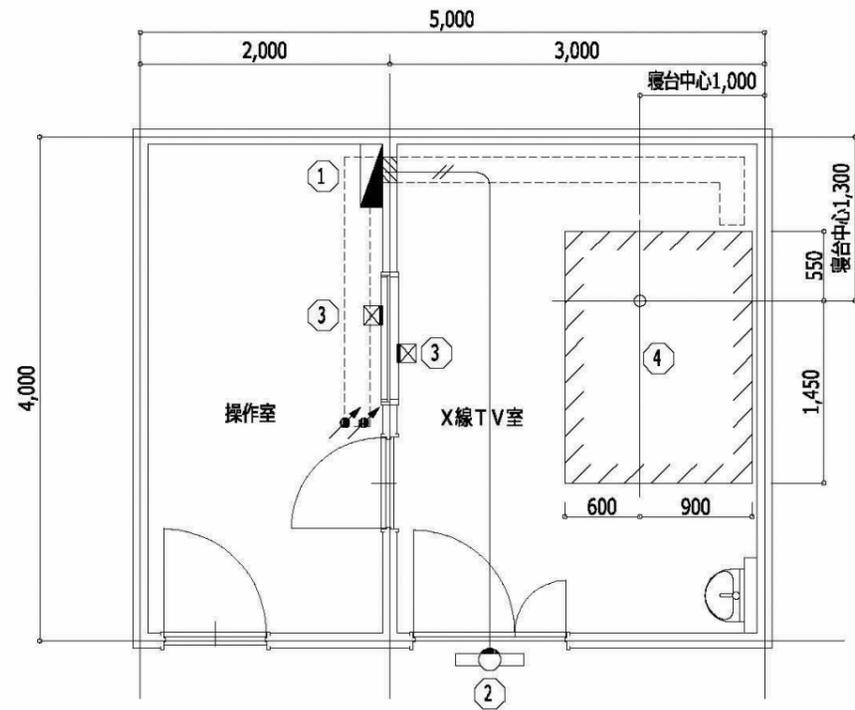


正面図

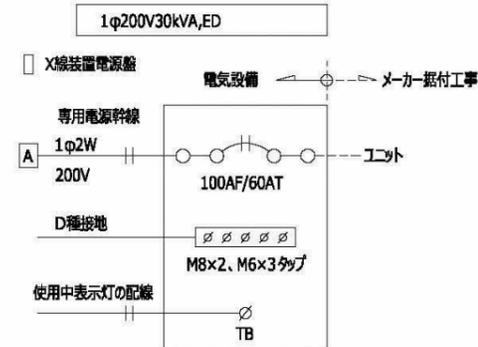


側面図

日付	欄次	巻数	各欄
		A3:1/50	
製図者	検査	2/3	



① 電源設備 (電気工事)

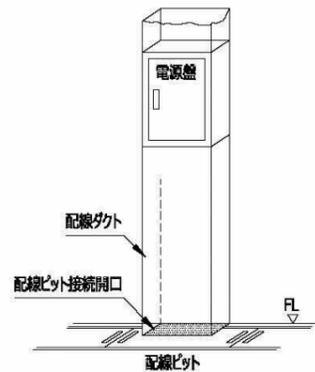


盤の下面に配線開口 (75φ) と配線ピット等までの配線ダクトまたは配管を設置のこと (電気工事)

- A 電源仕様
- 推奨配電変圧器容量 1φ200/220V 30kVA
  - 許容電源インピーダンス 0.08Ω
  - 電源電圧変動率 ±10%
  - 装置定格 最大管電圧 150kV-200mA  
最大管電流 80kV-400mA
- 電源ケーブル (CV) サイズ (配電変圧器～電源盤)
- |              |    |    |    |    |     |
|--------------|----|----|----|----|-----|
| こう長 (m以下)    | 10 | 20 | 40 | 70 | 100 |
| ケーブルサイズ (mm) | 14 | 22 | 38 | 60 | 100 |
- 配線用遮断器特性
- 200A、1秒で作動しないこと
  - 300A、0.1秒で作動しないこと
  - 400A、0.01秒で作動しないこと (電源オン時の突入電流を想定)
- 低圧契約換算容量 (電力供給規定による) 11kVA  
低圧受電の場合は、電力会社への申請時にX線発生装置の定格を明示下さい。ただし、この値は設備容量ではありませんのでご注意下さい。

② 使用中表示灯 (電気工事)

表示灯の配線は装置用電源盤内の端子に接続のこと。  
上記の端子から装置への配線接続はメーカー工事 (装置据付時) です。  
「使用中」表示灯は点灯時のみ文字が判読できる消し文字パネルを推奨します。  
※設置が必要な箇所は管轄の保健所の見解により異なる為、別途ご確認のうえ決定下さい。  
(操作室等の従事者用出入口にも設置が必要な場合が御座います。)



③ スピーカー用アウトレット・空配管 (電気工事)

取付高さ FL+2,000 ノズルプレート付き  
配線用空配管 PF16 (呼び線入) を撮影室側のアウトレットから操作室側のアウトレットを経由し端部を配線ピット内に突き出し又は、撮影室側・操作室側共に端部を配線ピット内に突き出し

④ 天井設備器具の制約範囲

X線TV装置は回転して最大高さがFL+2,335mmになります。天井直付設備器具の天井から下がる寸法と取付位置を考慮ください。図中に示す範囲は、天井高さ2,400mm (最低) の場合において、天井面から装置回転軌跡までの寸法が300~65mmになります。

<高調波抑制対策について (電気工事)>

高圧受電において『高調波発生機器からの高調波流出電流計算書』の作成が必要な場合は、別途弊社担当者にお尋ね下さい。  
高調波抑制対策が必要な場合、お客様工事にて施工願います。

<照明設備>

- 1 撮影室・操作室の照明には、調光設備を推奨します。
- 2 照明器具はモニターや操作窓に光源が映らないよう、ルーバー付器具などを推奨します。
- 3 寝台の患者さんがまぶしくならないよう、照明配置や器具の選定をしてください。
- 4 天井に取付ける機器がある場合は天井伏図を添付していますので、参照の上照明器具などの取り合いに留意ください。

<コンセント設備>

- 1 弊社 (販売品も含む) が使用するコンセントのみ、図面中に記載しています。上記以外のコンセントは、別途計画ください。
- 2 コンセントは、弊社装置と干渉しない位置に計画ください。装置の設置位置は、装置配置図にて確認ください。

凡例

記号	名称	記事
	電源盤	
	表示灯	「使用中」文字入の器具及び取付け、配線
	調光スイッチ	0~500lx 撮影室・操作室
	コンセント	接地係付きコンセント
	配線用アウトレット	壁付き (ノズルプレート付)

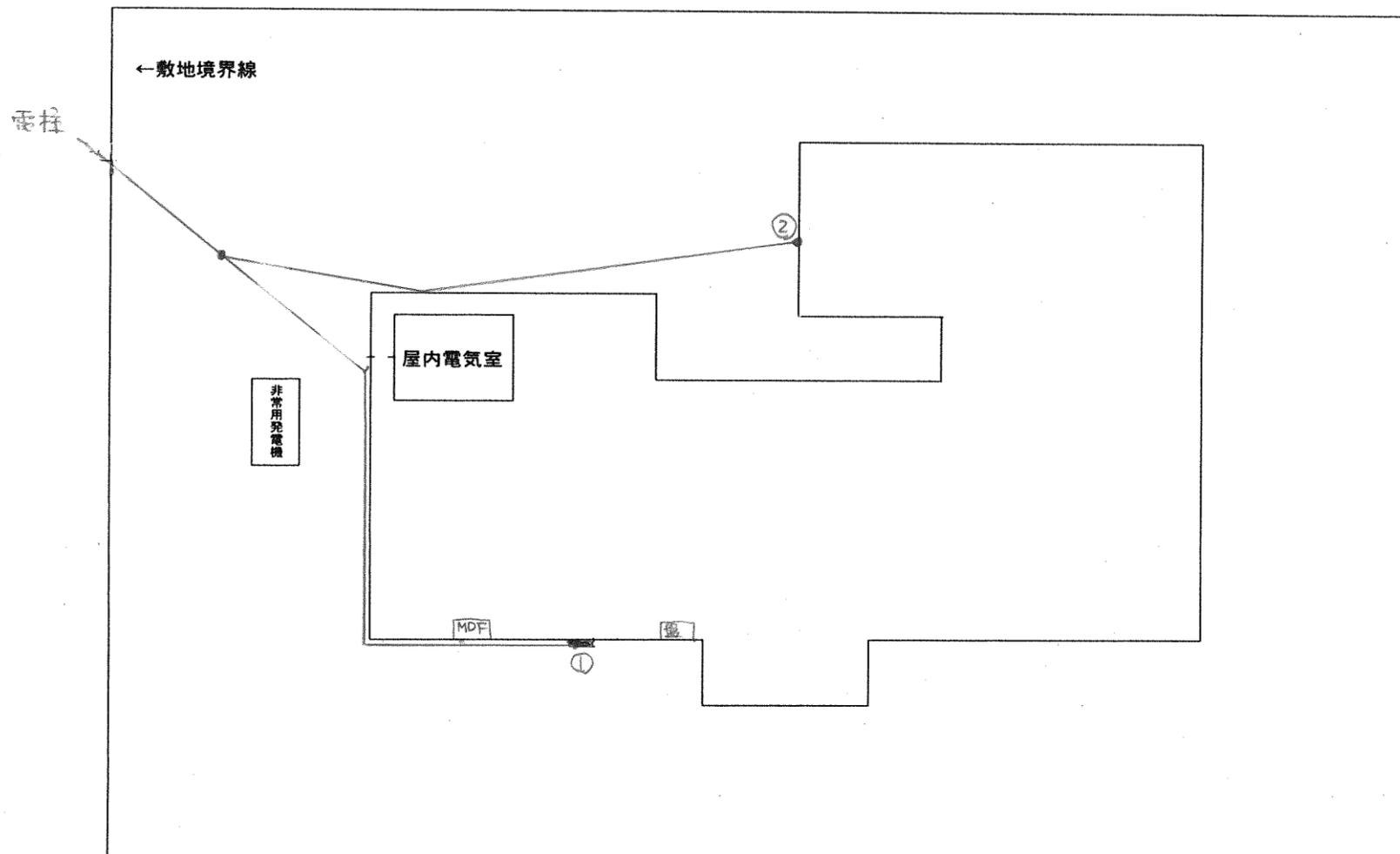
機器発熱量と空調条件 (kW)			
部屋	発熱量	温度	湿度
X線TV室			
X線TV装置	1	5~35℃	45~65%
合計	1		
操作室			
遠隔操作卓	0.8	13~35℃	30~80%
画像処理装置	0.7		
合計	1.5		

- 1 当社別途の機器は含みません
- 2 温度・湿度は機器の環境条件です
- 3 空調機は装置の直上を避けること(漏水)
- 4 結露しないこと

日付	欄	備考
縮尺 A3:1/50		
ページ 3/3		



構内図



注：委託業者の専用電話回線は記載なし

### 質疑回答資料3 白老町立病院の光熱水費（3ヵ年分）

光熱水費・燃料費過去3か年消費量（白老町立国民健康保険病院）

	平成30年度			
	電気料 (使用量 Kwh)	水道料 (使用量 m <sup>3</sup> )	プロパンガス (使用量 m <sup>3</sup> )	A重油 (使用量 L)
H30.4	24,593	1,228	216.4	12,000
H30.5	25,594	1,076	197.2	12,000
H30.6	24,945	1,246	197.4	6,000
H30.7	28,930	1,182	212.5	12,000
H30.8	30,927	1,141	226.6	6,000
H30.9	26,657	1,042	205.7	6,000
H30.10	27,223	1,107	215.3	12,000
H30.11	26,844	1,202	229.4	12,000
H30.12	26,323	1,178	205.6	24,000
H31.1	26,203	1,169	198.1	18,000
H31.2	23,609	1,255	209.2	18,000
H31.3	26,355	1,120	193.0	18,000
	318,203	13,946	2,506.4	156,000

	平成31年度（令和元年度）			
	電気料 (使用量 Kwh)	水道料 (使用量 m <sup>3</sup> )	プロパンガス (使用量 m <sup>3</sup> )	A重油 (使用量 L)
H31.4	25,308	1,164	213.5	18,000
R1.5	26,045	1,018	201.8	12,000
R1.6	26,110	1,058	221.2	6,000
R1.7	30,422	1,086	207.6	6,000
R1.8	31,752	1,092	212.2	6,000
R1.9	29,772	1,076	208.8	6,000
R1.10	26,556	1,001	203.6	12,000
R1.11	24,741	1,122	192.4	18,000
R1.12	26,626	1,173	201.3	24,000
R2.1	25,272	1,133	183.3	18,000
R2.2	23,801	1,294	185.5	18,000
R2.3	26,087	1,190	183.5	18,000
	322,492	13,407	2,414.7	162,000

	令和2年度			
	電気料 (使用量 Kwh)	水道料 (使用量 m <sup>3</sup> )	プロパンガス (使用量 m <sup>3</sup> )	A重油 (使用量 L)
R2.4	25,180	1,289	211.1	18,000
R2.5	25,997	1,154	209.4	12,000
R2.6	28,892	1,329	229.1	6,000
R2.7	30,129	1,238	206.6	12,000
R2.8	31,760	1,362	227.7	6,000
R2.9	30,098	1,395	239.8	6,000
R2.10	27,749	1,463	225.2	12,000
R2.11	25,842	1,431	237.8	18,000
R2.12	25,776	1,400	223.1	18,000
R3.1	25,449	1,391	208.3	24,000
R3.2	23,394	1,345	223.9	24,000
R3.3	27,462	1,174	203.6	18,000
	327,728	15,971	2,645.6	174,000

質疑回答資料4 厨房機器リスト例

セクション	No.	品名	寸法(mm)			台数	配管口径(A)			電気			蒸気			ガス		フールド	備考
			間口	奥行	高さ		給水	給湯	排水	1φ100V (kW)	1φ200V (kW)	3φ200V (kW)	給気 (A)	排気 (A)	消費量 (kg/h)	口径 (A)	消費熱量 (kW) (kg/h)		
① 下処理室	1	殺菌庫	300	450	1550	1				0.230									
	2	三槽シンク	1800	750	850	1	15×4	15×3	50×3										
	3	パイプ棚	1800	350	1段	1													
	4	移動台	750	600	850	1													
	5	掃除用具ロッカー	455	515	1790	1													
	6	台	1200	600	850	1													
	7	野菜スライサー	380	320	595	1				0.68									
	8	冷蔵庫(両面)センターベラレス	1200	850	1950	1			50	0.743									
	9	戸棚(両面・スイング扉)	900	750	1800	1													
② 検収・ストック	10	引出し付台	900	600	850	1													
	11	一槽シンク	600	600	850	1	15	15	50										
	12	検査用冷凍庫	610	650	1950	1			50	0.383									
③ 食品庫	13	冷凍庫(センターベラレス)	1500	805	1950	1			50			0.534							
	14	冷蔵庫(センターベラレス)	1500	805	1950	1			50	0.431									
	15	シェルフ(ベンチ4段)	610	610	1830	1													
	16	シェルフ(ベンチ4段)	1220	610	1830	2													
④ 調理室	17	殺菌庫	600	500	1030	1				0.780									
	18	一槽シンク	750	750	850	1	15	15	15										
	19	パイプ棚	750	350	1段	1													
	20	計量洗米装置	600	630	1785	1	15		50	0.59									
	21	低放射ガス自動炊飯器	780	815	1755	1				0.11				25	40.2 (2.88)				
	22	戸棚	750	750	1800	1													
	23	一槽シンク	750	750	850	1	15×2	15	50										
	24	引出し付台下戸棚	1200	750	850	1													
	25	台	1500	600	850	1													
	26	アイスメーカー	630	450	800	1	15		50	0.280									
	27	ブレンダー(パイプトップ3)	203	229	514	1				0.975									
	28	卓上カッターミキサー	225	305	450	1				0.75									
	29	電子レンジ	422	476	337	1					2.8								
	30	上棚	1200	500	1段	1													
	31	コートテーブル(センターベラレス)	1200	750	850	1			50	0.126									
	32	一槽シンク	750	750	850	1	15	15	50										
33	シンク付台	750	750	850	1	15	15	50											
34	ガステーブル	1500	750	850	1								25	44.8 (3.20)		G			

セクション	No.	品名	寸法(mm)			台数	配管口径(A)			電気			蒸気			ガス		フード	備考
			間口	奥行	高さ		給水	給湯	排水	1φ100V	1φ200V	3φ200V	給気	排気	消費量	口径	消費熱量		
										(kW)	(kW)	(kW)	(A)	(A)	(kg/h)	(A)	(kW)		
	35	台	1500	300	850	1													
	36	台下戸棚	1500	750	850	1													
	37	台	750	750	850	1													
	38	アイコンピプロ	850	842	808	1	20		高温50			10.1							G
	39	プラスチック&フリーザー	1200	850	850	1			50			1.42							
	40	アイバリオ	1100	938	440	1	20		高温40			19.0							G
	41	卓上アイバリオ専用架台	1050	815	620	1													
	42	移動台	600	600	850	3													
	43	台下戸棚(両面)	1500	750	850	3													
	44	冷温蔵配膳者	1510	750	1395	3						1.713×3							
	45	冷蔵庫	760	805	1950	1			50	0.237									
	46	次亜水生成装置	650	500	850	1	(15)		(50)	0.066									
	47	台	750	600	500	1													
	48	掃除用具ロッカー	455	515	1790	1													
⑤	49	ネ스팅トレイカート	1149	865	1086	3													
洗	50	冷水高压洗浄機	360	375	925	1	15			1.4									
浄	51	ソイルドテーブル	1800	750	850	1	15×2	15×2	50×2										
室	52	ラックシェルフ	1600	400	1段	1													
	53	ドアタイプ洗浄機	670	750	1390	1	15		高温40 高温50			5.0			15	24.0 (1.72)			○
	54	クリーンテーブル	1200	750	850	1													
	55	掃除用具ロッカー	455	515	1790	1													
	56	戸棚	1500	600	1800	1													
	57	移動台	750	600	850	1													
	58	電気消毒保管庫	900	950	1900	2			25×2			9.40×2							
⑥	59	コールドショーケース	1200	550	900	1			40	0.381									
食	60	湿温蔵庫	1200	450	750	1	15		25			2.6							
堂	61	スープウォーマー	365	315	375	1				0.21									
	62	ライスウォーマー	460	380	390	1				0.077									
	63	電子レンジ	422	476	337	1					2.8								
	64	移動式シェルフ(ベンチ6段)	1220	460	1700	2													
		予備容量								1.5×5	3.0×1								
		設備容量合計								15.949	8.6	62.593					109 (7.81)		